

高校生向け副読本(けんけつ HOP STEP JUMP)の改訂について

資料4

1. 改訂の趣旨

- ① 高校生への普及啓発として、献血及び血液事業に対する理解を促進するため、平成2年度から、全国の高校生及び教員へ副読本を配布。
- ② 平成18年度から、「けんけつちゃん」のキャラクターも活用した内容で作成・配布し、6年間が経過。見直しを図る旨の提案・指摘有。
- ③ 平成23年度の薬事・食品衛生審議会献血推進調査会における指摘や学校関係者へのアンケート調査を踏まえ、今般、改訂(案)を作成。

2. 主な改訂点

事項	改正内容	改正理由
追加事項	献血の必要性をまとめたページを追加(改訂案3頁) 【教員用】高校献血への理解を求めるページを追加(改訂案18頁)	アンケート意見を反映(要点の集約) 高校献血を不安視する教員に、高校献血の意義や現状を理解してもらう
削除事項	「けんけつちゃんのマンガ」の全削除(4～7頁) 【生徒用】「献血後の注意事項」の全削除(21頁) 「血液型と遺伝」の全削除(生徒用:21頁、教員用:31頁) 「血液検査サービス」の全削除(生徒用:22頁、教員用:32頁) 【教員用】「献血の推進と新たな法的枠組み」の全削除(33頁) 【教員用】「新しい血液法の概要」の全削除(34頁)	コンパクト化 コンパクト化 アンケート意見を反映 コンパクト化 コンパクト化 コンパクト化
その他・修正事項	【全体】表紙デザインを変更 <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト化(ページ数の減、B5判化) ・教員用のみに掲載するページ(参考資料)を後ろに集約 ・文字数の削減、文字の拡大化 ・縦書きから横書きへ変更 ・文章表現の簡略化 ・写真、グラフの多用 【内容】高校生へ向けたページの内容充実(改訂案4頁)	内容改訂に伴うデザイン一新 アンケート意見を反映 教員用冊子の使いやすさを考慮 アンケート意見を反映 アンケート意見を反映 アンケート意見を反映 アンケート意見を反映 アンケート意見を反映(要点の集約)

「けんけつ HOP STEP JUMP」(23年度送付)アンケート
 -寄せられた主なご意見-

【アンケート調査の基礎情報】

- ・調査学校数: 5,895校
- ・回答数: 1,613校
- ・回答率: 27.4%

※ () は特別支援学校

■ 冊子の大きさ

・もっと小さく	26
---------	----

■ 冊子のボリューム

・もっと薄く、コンパクトに (リーフレット・チラシなど)	62
------------------------------	----

■ 冊子の内容

《 改善点 》

● けんけつちゃんマンガ	
・もっと多く	4
・内容が幼稚	3
● 輸血を受けた方々の声	
・高校生の声を入れる	2
・できるだけ数多く載せる (できれば本人の写真も)	1
・もっとビジュアルに構成	1
・病名や具体例などを入れる	1
● 献血の手順	
・写真で説明する	2
・献血ルームのサービス案内 (血液検査サービス、ジュース・処遇品)	6
● 献血の条件	
・具体的に細かく明記する	2
・生徒用にも詳しい採血基準や問診票の内容を記載	1
・献血できる人・できない人がわかる〇×クイズ。	1
● 献血できる場所	
・献血場所や献血バスの情報を詳しく載せる (受付時間など)。	3
・地域の献血ルームを地図や写真で紹介。	2
・学校の校区内での献血場所を具体的に載せる。	1
● その他	
・Q & Aの充実	1
・血液は人工的に造れない、献血はボランティアである、を強調	1
・若者の献血者が減っていることをもっと強調した方が良い	1

●全体

・漢字・文字が多い。	1(5)
・文字が小さい(もっと大きく)。	1(2)
・ふりがなをつけて。	1(8)
・内容をもっと簡単に、分かりやすく、要点をまとめる	33(10)
・絵や写真を多く	2(4)
・インパクトを強く	1
・毎年内容が同じなので、変化がほしい	3
・日常使わない医療用語は避けて	1
・横書き	1
・左開きが良い	2
・資料の拡大	(1)
・点字資料	(3)
・アニメ風にする	2
・教員用と生徒用に分けなくていい	1
・マンガ仕立てにする(コマ割りをして、セリフで説明)	1

《 追加してほしい内容 》

・著名人を載せる(写真、コメント、献血体験や活動レポート)	9
・詳細なデータ、図表、イラスト	3
・生徒用にも、献血の注意と副反応について載せる	1
・全国の高校生がどれくらい献血しているかなど、高校生のデータ	1
・献血者の年齢別割合や献血者の感想、意見	1
・献血は誰にもできる社会貢献である、という面を強調	1
・血液の成分のそれぞれの役割を、図で説明	1
・自分の地域の献血率	1
・製剤化されるまでの安全性の検査(具体的に)	1
・血液を増やす情報(貧血気味の生徒が多い)	1
・高校生に人気のアニメやマンガのキャラクターを載せる	1
・「けんけつ体操の歌」(楽譜入り)	1
・採血基準が変更された理由や背景	1
・献血の大切さをもっとアピール	1
・「健康に害を及ぼすものでない」ということ	1
・献血後およそ何日くらいで血液がもとに戻るか	1
・実際に献血を体験した高校生の感想	3
・放射線による体内被曝を受けても、献血や輸血はできるのかという説明	1
・採血への不安や恐怖を和らげる内容	1
・「献血は臓器移植と同じ尊い行いである」ということを訴える	1
・大きなカラー写真や、分かりやすいワンフレーズ	1
・予防接種についての注意事項	1
・献血が健康維持にどのように貢献しているのか具体的に。	1
・表紙にキャラクターや人気のある人を載せる。	1
・詳しい説明をHPに掲載する(冊子は要点のみ)	1
・血液の役割について高校生物レベルの内容を入れる。	1

《 削除してほしい内容 》

・「両親の子と血液型」の表(親子関係をダイレクトに示しすぎる)	1
---------------------------------	---

《 現状でOKの内容 》

・「献血を受けた方々の声」	3
・豊富なイラスト、図、写真	14
・マンガ	8
・キャラクター	6

改訂案

けんけつ

HOP

JUMP

STEP

教員用



厚生労働省

Ministry of Health Labour and Welfare

● ● 目 次 ● ●

◆ 生徒用・教員用共通ページ ◆

- 03. 必要不可欠な献血
- 04. 高校生のみなさんへお願い
- 05. 献血の基礎知識
- 06. 献血の手順
- 07. 患者さんに血液が届くまで
- 08. 献血Q & A
- 10. ミニコラム
- 11. 輸血を受けた方々の声
- 13. 血液センター所在地一覧
- 14. 献血ルーム所在地一覧
- 16. キャラクター紹介



◆ 教員用参考資料 ◆

- 18. ご理解をお願いします
- 19. 採血基準
- 20. 献血いただく前に
- 21. 献血後の注意事項
- 22. 問診票の解説
- 27. 献血者の健康被害
- 28. 献血事業のあゆみ





献血ってどうして必要なの？



病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を自分の体内におぎなって治療しています（「輸血」といいます）。

その輸血に欠かせないのが「献血」です。

献血とは、輸血を受ける患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。

献血が必要なわけ

人工的に造れない！

現代は、医療技術がどんどん進歩しています。しかし、血液はいまだに人工的に造ることができません。

だから、「献血」でたくさんの人から血液を集めるしかありません。

長期保存ができない！

血液は生きた細胞の集まりなので、長い間保存ができません。

いつでも患者さんに血液を届けられるように、毎日新しい血液を確保しなくてはなりません。

1日約3千人！

何の数字だと思いますか？

実は、輸血を受けている患者さんの数なんです。

毎日、こんなに多くの患者さんが、血液を必要としています。

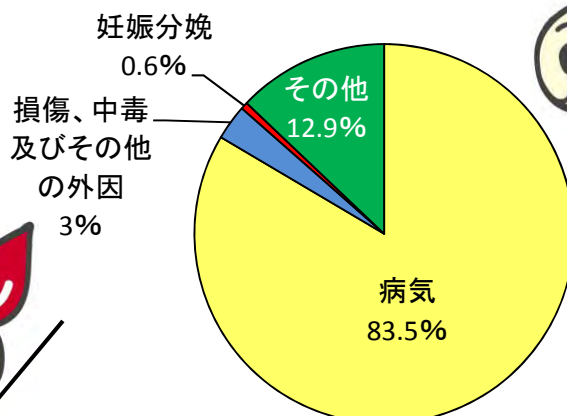
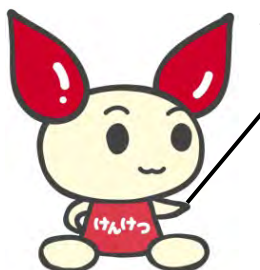
最多はがん治療！

輸血はどのような時に使われるのでしょうか？多くはがん治療で、約40%を占めます。

このような病気の治療で、血液は常に必要とされています。

「輸血」というと、大けがした時に使われるイメージがあるけれど・・・

けが治療はわずか3%で、ほとんどは病気の治療に使われているっち！



(平成21年 東京都福祉保健局調べ)

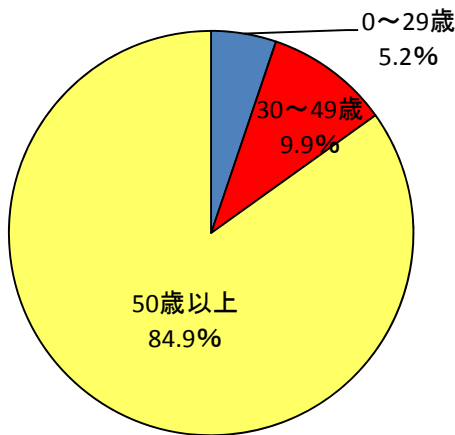


高校生のみなさん！献血にご協力を！



今、時代は少子高齢社会。献血は大半を30代以上の方が支えています。この状態がずっと続くと、どうなるのでしょうか？

輸血を受ける人



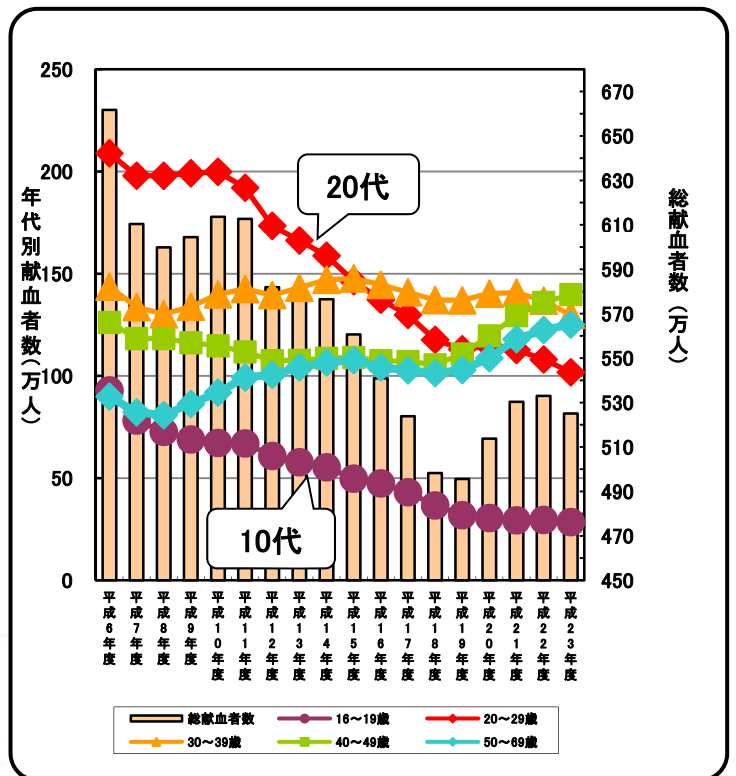
(東京都福祉保健局調べ)

輸血を受ける人の**約85%**は、**50歳以上**です。高齢化が進むと、輸血を受ける人の割合がどんどん多くなります。

献血者が少なくなってしまうと、十分な血液が集められないっち・・・



献血をする人



今まで輸血を支えてきた30代以上の献血者は、だんだん「輸血を受ける側」へシフト。

一方で、将来を支える**10代・20代の献血者は、減少が止まりません。**

血液を必要とする患者さんに、血液が届けられない事態に！

そんな事態にならないように、一人でも多くの方、特に若い世代の方に、献血に協力してもらう必要があります。

あなたの献血で、多くの患者さんの命が救われます。皆さんのご協力をお願いいたします。

【教員の皆様へ】

参考資料(18頁)をご参照ください

■ 献血の種類

献血には4つの種類があります。

献血で集められた血液は、使用目的に合った製剤となって、患者さんのもとに届きます。

血漿分画製剤の中には、海外に頼っているものもあるんだっち！



■ 採血基準

この採血基準に当てはまる場合に献血ができます。(問診などの結果では献血できないこともあります。)

これは、献血者や、輸血を受ける患者さんの安全を確保するために設定されています。

16歳から献血できるっち！



採血基準の主なもの

		200mL献血	400mL献血	成分献血
年齢	男	16歳から	17歳から	18歳から
	女		18歳から	
体重	男	45kg以上	50kg以上	45kg以上
	女	40kg以上		40kg以上

【教員の皆様へ】

参考資料(19頁)をご参照ください

① 献血受付



献血申込書に記入します。
また、身分証明書などの提示をお願いし、本人確認を行っています。

⑤ 採血



採血ベッドに横になって、採血を開始します。

② 問診票の記入



献血する方の安全と、輸血を受ける患者さんの安全のために、問診票の質問に正確に回答します。

⑥ 休憩



献血後は、休憩場所で十分に水分をとり、しばらく休憩をしてください。

③ 問診の血圧測定



問診票に基づき、医師による問診と血圧測定を行います。問診内容のプライバシーは厳守されます。

⑦ 献血カードの受取



献血カードを受け取ります。今後の献血記録になりますので、大切に保管してください。

④ 血液型の判定、ヘモグロビン濃度の測定



貧血の心配がないか、事前に調べます。成分献血の場合は、血小板の数も調べます。



献血後の注意

気分が悪くなったり、針を刺した部位に痛みやしびれが残る場合は、すぐに血液センター職員にお知らせください。



【教員の皆様へ】

参考資料（21頁）をご参照ください

患者さんに血液が届くまで

献血

献血できる場所は、献血ルームや献血バスなど、全国にたくさんあります。



写真

献血ルーム

写真

献血バス



血液センター

① 検査

血液型や、ウイルスが混入していないかを調べます。

写真

② 製剤

血液は成分ごとに分けられ、目的にあった血液製剤が作られます。

写真

③ 保管

製剤の種類に応じて、適切な温度で保管しています。

写真

④ 供給

365日24時間いつでも病院へ届けられるように、準備しています。

写真



医療機関

血液を必要としている患者さんのもとに届きます。
献血で助かる命はたくさんあるのです。

写真



献血は
いのちを繋ぐボランティアです

Q 1 採血にかかる時間は？



全血献血（200mL・400mL）は、**15分程度**です。

成分献血は、**40分～90分程度**です（採血する量により異なります）。

Q 2 献血をして病気がうつることはないの？

心配ありません。

献血をするときに使われる針や献血バッグなどは、献血者一人ひとり新しいものに交換されます。

だから、他の献血者から病気などがうつることは絶対にありません。



Q 3 献血をすると、自分の体のことが分かるって本当？



ご希望の方には、血液検査の結果をお知らせしています。

自分の体の健康状態を把握できますので、病気の早期発見などにも役立っています。

Q 4 近くで献血できる場所を調べるには？

日本赤十字社のホームページでは、お住まいの地域の献血会場や献血バス運行予定などを掲載しています。

詳しくは、以下で検索してください。

日本赤十字社 献血

検索



Q 5 献血するときの注意点は？

患者さんに安全な血液をお届けするために、採血基準のほかに、献血できる条件があります。以下は主なものですが、不安な方は問診医に相談してください。

薬を飲んでいる

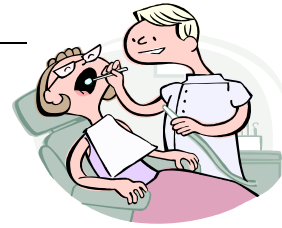
病気や薬の種類によって、献血をご遠慮いただくことがあります。

ビタミン剤などは、内服していても支障ありません。



最近、歯科治療を受けた

3日以内に出血を伴う治療を受けた人は、献血できません。



予防接種を受けた

予防接種の種類によって異なりますが、一定期間献血をご遠慮いただいています。



- 接種後24時間：インフルエンザ、日本脳炎、子宮頸がん、肺炎球菌など
- 接種後4週間：B型肝炎など

ピアスをしている

穴のあけ方によって異なりますが、1ヶ月～6ヶ月間献血をご遠慮いただいています。

また、唇や口の中、鼻にピアスをしている人は、献血できません。

海外に行った

帰国当日から4週間以内は、献血をご遠慮いただいています。

また、特定の時期に一定期間イギリスなどへの海外渡航歴がある方については、当分の間献血をご遠慮いただいています。



【健康被害などの副作用について】

採血は、献血者の健康状態を十分確認して行われますが、気分不良などの副作用が起きることがあります。

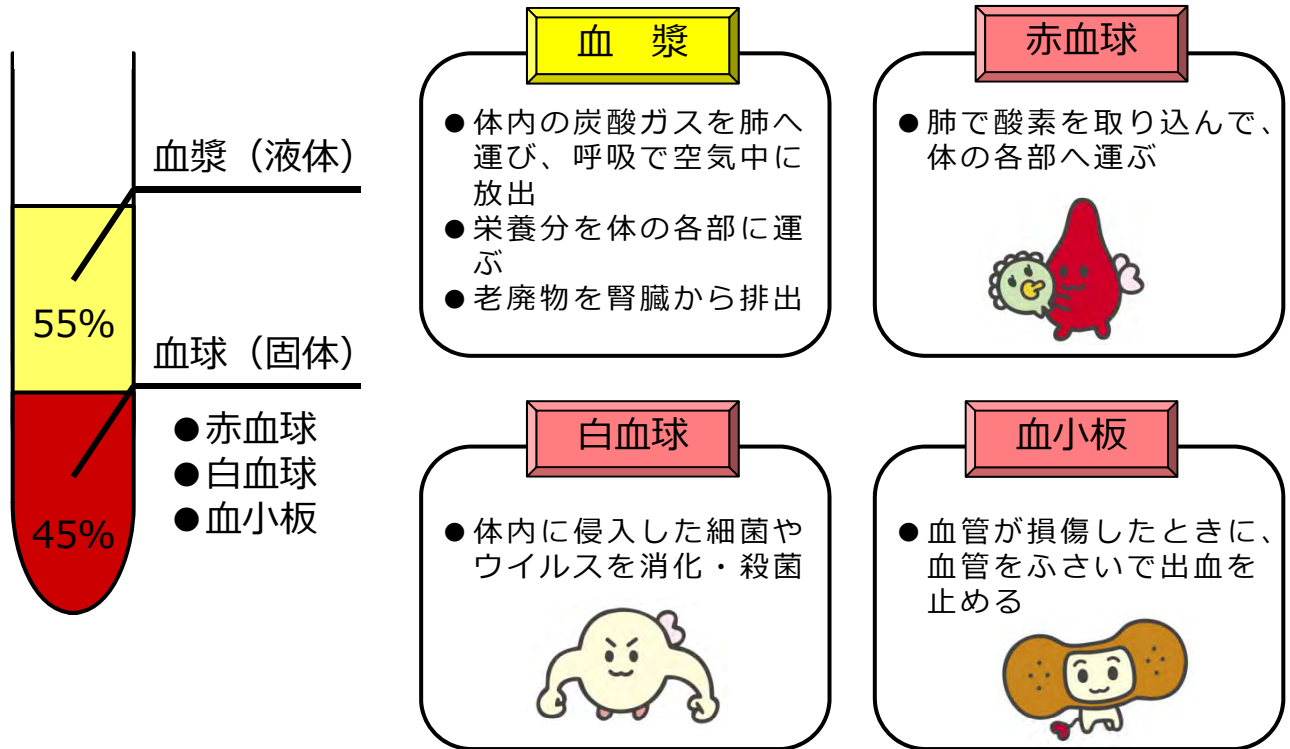
その大部分は軽度なものですが、医療機関の受診が必要となった際に医療費等を補償する「献血者健康被害救済制度」が設けられています。詳しくは、お近くの血液センターにお尋ねください。

【教員の皆様へ】

参考資料（27頁）をご参照ください

■血液の成分

血液は、人間の体に必要な酸素や栄養分を体中に運んでいます。



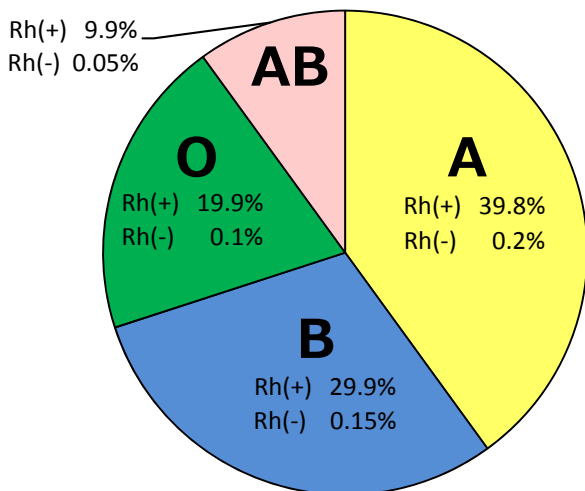
■血液型

血液には、いろいろな型があります。

【主な血液型】

- 赤血球の型：ABO型、Rh型
- 白血球の型：HLA型

日本人の血液型の発現率



輸血をするときは、誰の血液でも良いというわけではありません。

同じ血液型の血液を輸血しないと、重い副作用が生じてしまいます。

下の2つの血液型を合わせて、輸血をします。

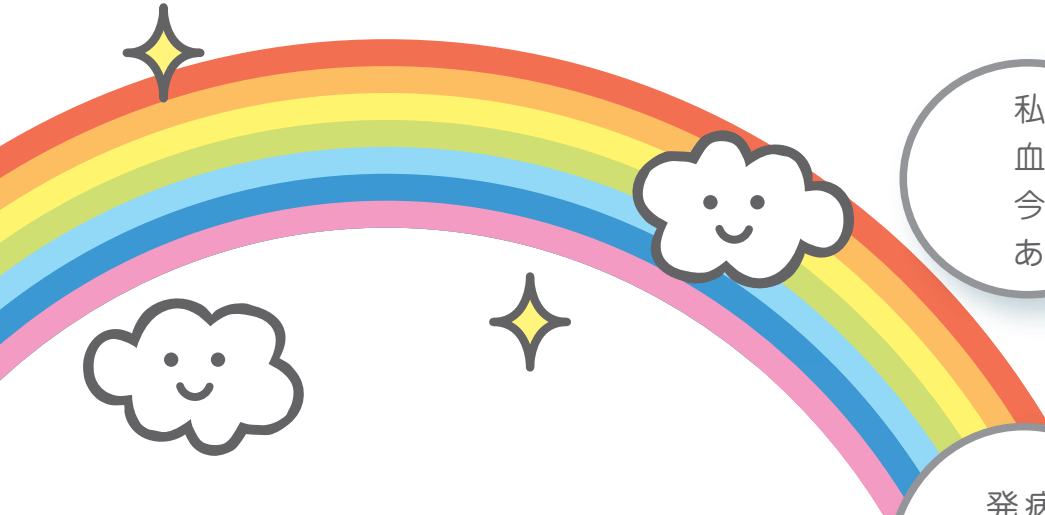
ABO型

Rh型



輸血を受けた方々の声

このページでは、病気やケガのために輸血を受けた患者さんや、そのご家族の方の声を紹介します。



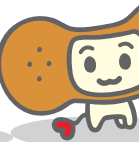
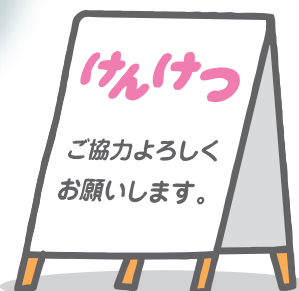
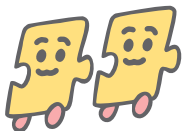
私は現在、骨髄腫で血液ができません。今になって献血・輸血のありがたさが分かります。

発病以来15年経ちますが、輸血を受けた事で現在に至るまで命をつないで居ります。心から感謝の毎日を送っています。若い方の献血が私たちを助けていますのでどうかこれからも1人でも多くの方の献血をお願いいたします。

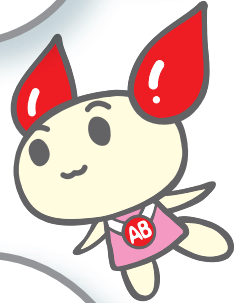
誰かも分からない方のありがたい献血のおかげで、娘の容体が少しでも良くなっているのも、機会があれば他の子ども達や家族に献血の必要性などを話して、血液が必要な方への提供を呼びかけるようにしていきたい。



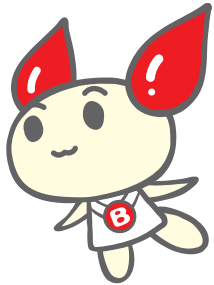
私の受けている治療には、輸血が不可欠なもので、今こうして私が元気に生きていられるのは、輸血があったからこそだと思っています。私は血液関係の病気であるため、将来献血という形で恩返しはできないだろうけど、何か別の方法を見つけ出し、病気と闘う人のために役に立ちたいと思っています。



献血と言えば、
手術とか事故しか思い浮かばなかったが、
自分が血液の病気になり、
本当に献血の必要性を強く感じた。
同時にとても感謝しています。

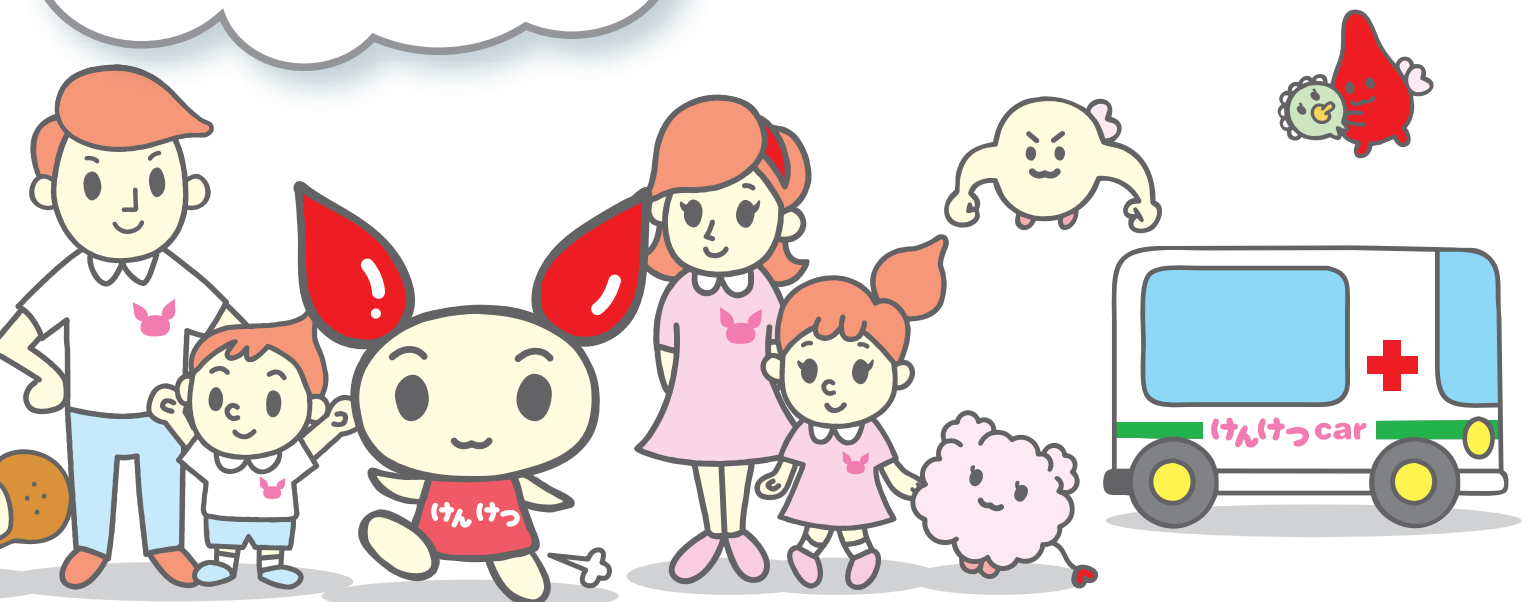


点滴台に下げられている
輸血の袋に両手を合わせて
お礼を言いました。
たくさんの人たちが献血をしてくださった
おかげで、私は今日も生き延びられる。
少しでも元気になる。たくさんの人たちのパワーを
もらって希望が持てるようになりました。
本当に本当に、みなさまありがとうございました。



まさか自分が輸血を受けなければ
いけない病気にかかるとは、
夢にも思っていませんでした。
いつも心の中で(どこのどなたなのか分からない
けれど)感謝しています。
数日前、病室のテレビで、献血をする人の数が減り、
高校生や大学生が街頭でキャンペーンを行っている
様子を見ました。それと献血ルームで献血を行っている
人の映像も目にすることができ、感謝しました。
これからもぜひ、運動を続けていって
ほしいものと思います。

現在入院して治療中です。
血液の病気で小児です。
長期にわたり大変多くの輸血を受けました。
一回一回ごとに
多くの方々の献血・善意に本当に
感謝しています。



血液センター所在地一覧

(平成23年4月現在)

〒	住所	TEL
北海道	063-0002 北海道札幌市西区山の手2-2-3-37	011-613-6121
北海道旭川	070-0817 北海道旭川市川端町7-10-1-50	0166-52-2211
北海道釧路	085-0002 北海道釧路市新釧路町5-35	0154-24-5125
北海道函館	040-0022 北海道函館市日乃出町23-8	0138-56-2211
青森県	030-0966 青森県青森市花園2-19-11	017-741-1511
青森県八戸	031-0001 青森県八戸市大字類家字縄手下1-51	0178-45-1700
岩手県	020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6	019-637-7200
宮城県	981-3206 宮城県仙台市泉区明通2-6-1	022-290-2501
秋田県	010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反233-186	018-865-5541
山形県	990-0023 山形県山形市松波1-18-10	023-622-5301
福島県	960-1198 福島県福島市永井川字北原田17	024-544-2550
福島県会津	965-0003 福島県会津若松市一箕町大字八幡字門田1-2	0242-24-6650
福島県いわき	970-8044 福島県いわき市中央台飯野5-1-1	0246-29-5624
茨城県	310-0851 茨城県水戸市千波町千波山508-6	029-243-5121
栃木県	321-0192 栃木県宇都宮市今宮4-6-33	028-659-0111
群馬県	379-2181 群馬県前橋市天川大島町2-31-13	027-224-2118
埼玉県	350-1213 埼玉県日高市高萩1370-12	042-985-6111
千葉県	274-0053 千葉県船橋市豊富町690	047-457-0711
東京都	135-8639 東京都江東区辰巳2-1-67	03-5534-7501
東京都西	190-0014 東京都立川市緑町3256	042-529-0401
神奈川県	243-0035 神奈川県厚木市愛甲1837	046-228-9800
神奈川県横浜	245-8585 神奈川県横浜市戸塚区汲沢町219-3	045-871-1111
新潟県	951-8127 新潟県新潟市中央区関屋下川原町1-3-12	025-230-1700
山梨県	400-0062 山梨県甲府市池田1-6-1	055-251-5891
富山県	930-0821 富山県富山市飯野26-1	076-451-5555
石川県	920-8201 石川県金沢市鞍月東1-1	076-237-5533
福井県	918-8011 福井県福井市月見3-3-23	0776-36-0221
長野県	380-0836 長野県長野市南泉町1074	026-228-1414
岐阜県	500-8269 岐阜県岐阜市西部中島2-10	058-272-6911
静岡県	420-0881 静岡県静岡市葵区北安東4-27-2	054-247-7141
静岡県沼津	410-0302 静岡県沼津市東椎路春ノ木567	055-924-6611
静岡県浜松	435-0003 静岡県浜松市東区中里町1013	053-422-1113
愛知県	489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3	0561-84-1131

〒	住所	TEL
愛知県豊橋	441-8083 愛知県豊橋市東脇3-4-1	0532-32-1331
三重県	514-0003 三重県津市桜橋2-191	059-229-3580
滋賀県	525-8505 滋賀県草津市笠山7-1-45	077-564-6311
京都府	605-0941 京都府京都市東山区三十三間堂廻り町644	075-531-0111
京都府福知山	620-0853 京都府福知山市長田野町1-31-1	0773-27-6630
大阪府	536-8505 大阪府大阪市城東区森之宮2-4-43	06-6962-7001
大阪府北大阪	567-0853 大阪府茨木市宮島2-1-15	072-632-4747
大阪府南大阪	597-0062 大阪府貝塚市沢356-1	072-423-3001
兵庫県	651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5	078-222-5011
奈良県	639-1123 奈良県大和郡山市筒井町600-1	0743-56-5916
和歌山県	640-8513 和歌山県和歌山市栄谷字丸江153	073-455-6613
鳥取県	680-0901 鳥取県鳥取市江津370-1	0857-24-8101
島根県	690-0882 島根県松江市大輪町420-21	0852-23-9467
岡山県	700-0012 岡山県岡山市北区いずみ町3-36	086-255-1211
広島県	730-0052 広島県広島市中区千田町2-5-64	082-241-1246
山口県	753-8534 山口県山口市野田字野田172-5	083-922-6866
徳島県	770-0044 徳島県徳島市庄町3-12-1	088-631-3200
香川県	761-8031 香川県高松市郷東町字新開587-1	087-881-1500
愛媛県	791-8036 愛媛県松山市高岡町80-1	089-973-0700
高知県	780-8010 高知県高知市棧橋通6-7-44	088-833-6666
福岡県	818-8588 福岡県筑紫野市上古賀1-2-1	092-921-1400
九州	839-0801 福岡県久米米市宮ノ陣3-4-12	0942-31-8900
福岡県北九州	806-0044 福岡県北九州市八幡西区相生町15-1	093-631-1211
佐賀県	849-0925 佐賀県佐賀市八丁畷町10-20	0952-32-1011
長崎県	852-8145 長崎県長崎市昭和3-256-11	095-843-3331
長崎県佐世保	857-1161 長崎県佐世保市大塔町8-66	0956-26-1866
熊本県	861-8039 熊本県熊本市長嶺南2-1-1	096-384-6000
大分県	870-0889 大分県大分市大字在隈717-5	097-547-1151
宮崎県	880-8518 宮崎県宮崎市大字恒久885-1	0985-50-1800
鹿児島県	890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町1-5	099-257-3141
沖縄県	902-0076 沖縄県那覇市与儀1-4-1	098-833-4747
血液分画センター	066-8610 北海道千歳市泉沢1007-31	0123-28-3311
血液管理センター	620-0853 京都府福知山市長田野町1-31-1	0773-27-9501

献血ボランティアを募集しています。

血液センターでは、イベントの実施や献血会場での呼びかけ、受付などを手伝っていただく方を募集しています。詳しくは各血液センターまでお問い合わせ下さい。

献血ルーム所在地一覧①

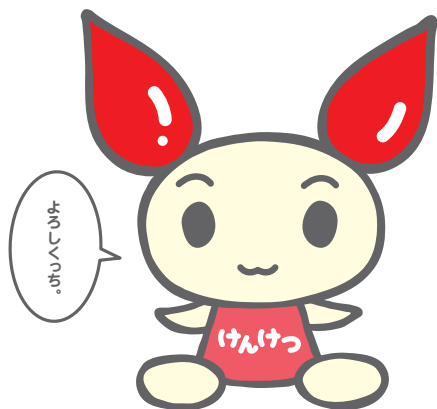
(平成23年4月現在)

都道府県	市区町村	ルーム名(通称)	場 所	TEL
北海道	札幌市中央区	大通	大通西1丁目地下コンコース	011-271-6381
北海道	札幌市中央区	アスティ	アスティ45ビル7F	011-200-4545
北海道	札幌市厚別区	新さっぽろ	Duo 1・2F	011-895-2555
北海道	旭川市	日赤西武	西武百貨店旭川店B館9F	0166-25-5660
北海道	帯広市	すずらん	東7条南9丁目	0155-25-0101
北海道	室蘭市	室蘭	東町1丁目20-42	0143-45-2244
青森県	青森市	青森	日赤青森県支部4F	017-722-7003
青森県	弘前市	弘前駅前	大町タウンビル2F	0172-39-7711
岩手県	盛岡市	メルシー	OT33ビル 4F	0120-13-3343
宮城県	仙台市青葉区	杜の都献血ルームAOBA	TICビル6F	022-738-9101
宮城県	仙台市青葉区	アエル20	A E R 20F	022-711-2090
秋田県	秋田市	アトリオン	アトリオンビルB1F	018-836-7811
秋田県	秋田市	献血ステーション	イオンモール秋田1F	018-889-6949
山形県	山形市	なのかまち	山形県民会館北側1F	023-629-8720
福島県	郡山市	郡山駅	JR郡山駅構内2F	024-925-2638
茨城県	水戸市	水戸	中村ビル6F	029-224-9226
茨城県	つくば市	つくば	つくばセンタービル2F	029-852-7888
茨城県	日立市	さくら	三井生命日立ビル5F	0294-26-0099
栃木県	宇都宮市	うつのみや大通り	明治安田生命ビル1F	028-632-1131
群馬県	高崎市	Harmony	JR高崎駅東口イーサイト高崎3F	0120-80-5870
群馬県	前橋市	前橋ハートランド	大同生命ビル1F	0120-80-5871
群馬県	太田市	太田YOU愛	太田市学習文化センター敷地内	0120-80-5872
埼玉県	さいたま市	大宮駅	大宮ルミネ2-2F	048-645-8030
埼玉県	さいたま市	ウエスト	DOM PARTⅢビル6F	048-658-5757
埼玉県	越谷市	越谷レイクタウン	イオンレイクタウンMORI1F	048-987-3737
埼玉県	所沢市	所沢プロベ通り	Tokorozawa ex 2F	042-939-8893
埼玉県	川越市	ポケット	木村屋ビル3F	049-225-8760
埼玉県	鴻巣市	鴻巣	埼玉県運転免許センター内	048-543-5511
埼玉県	熊谷市	熊谷駅	JR熊谷駅構内	048-525-8802
埼玉県	川口市	川口駅	JR川口東口駅ビル3F	048-223-7661
千葉県	千葉市中央区	モノレールちば駅	千葉都市モノレール千葉駅構内	043-224-0332
千葉県	千葉市美浜区	運転免許センター	千葉県運転免許センター内	043-276-3641
千葉県	習志野市	津田沼	津田沼ビル4F	047-493-0322
千葉県	船橋市	フェイス	フェイスビル7F	047-460-0521
千葉県	松戸市	Pure	JR松戸駅西口松戸ビル1F	047-703-1006
千葉県	柏市	柏	そごうアネックス館6F	04-7167-8050
東京都	新宿区	新宿西口	JR新宿駅西口地下広場	03-3348-1211
東京都	新宿区	新宿東口	JR新宿駅東口カワセビル6F	03-5269-1431
東京都	新宿区	日赤都庁	都民広場B1F	03-3343-2231
東京都	渋谷区	S H I B U ²	ビレッジ101ビル8F	03-3770-0820
東京都	渋谷区	渋谷ハチ公前	大外ビル6F	03-3476-2880
東京都	豊島区	池袋い〜すと	JR池袋駅東口タカセ・セントラルビル8F	03-3988-9000
東京都	豊島区	ぶらっと	JR池袋駅東口 フジキビル3F	03-5950-3000
東京都	千代田区	有楽町	東京交通会館6F	03-3213-8666
東京都	千代田区	アキバ	新秋葉原ビル1F	03-5298-2811
東京都	千代田区	akiba:F	朝風二号館ビル5F	03-3251-8201
東京都	武蔵野市	吉祥寺タキオン	ダイヤパローレビル8F	0422-21-9000
東京都	立川市	立川	立川モディB1F	042-527-1140
東京都	町田市	まちだcomfy	町映ビル7F	042-732-8494
神奈川県	横浜市西区	横浜駅東口クロスポート	中央郵便局前横浜駅前共同ビル7F	045-444-1088
神奈川県	横浜市神奈川区	横浜駅西口	県民センター前TSプラザビル1F	045-314-7082
神奈川県	横浜市旭区	二俣川	神奈川県運転免許試験場内	045-361-0330
神奈川県	横浜市港南区	上大岡	ゆめおおおかオフィスタワーB1F	045-843-2332
神奈川県	川崎市川崎区	かわさき	川崎日航ホテル2F	044-245-1857
神奈川県	川崎市高津区	みぞのくち	JR武蔵溝ノ口駅前NOCTY1・10F	044-813-0311
神奈川県	藤沢市	クロスウェーブ湘南藤沢	南口ファミリー通り大安興業ビル2F	0466-25-8877
神奈川県	厚木市	本厚木	NBF厚木ビル1F	046-225-7001
新潟県	新潟市	東堀ふるふる	東堀パーク600 2F	0120-40-0389
新潟県	新潟市	ばんだいゆとりろ	損保ジャパン・新潟セントラルビル2F	0120-86-9950
新潟県	長岡市	千秋	センタープラザ2F	0120-05-6339

献血ルーム所在地一覧②

都道府県	市区町村	ルーム名(通称)	場所	TEL
富山県	富山市	マリエ	マリエとやま6F	076-445-4500
石川県	金沢市	ラブロ	ラブロ片町5F	076-220-1655
福井県	福井市	いぶき	月見3-3-23	0776-36-0221
山梨県	甲府市	甲府	NIS甲府ビル3F	055-235-3135
長野県	松本市	松本	有和ビル2F	0263-37-1600
長野県	諏訪市	諏訪	清水3-3840-1	0266-53-7211
岐阜県	岐阜市	新岐阜	岐阜ビルディング5F	058-264-2122
岐阜県	多治見市	多治見駅前	駅前プラザ・テラ4F	0572-23-0227
静岡県	静岡市葵区	あおば	毎日江崎ビル6F	054-272-5858
静岡県	浜松市中区	みゅうず	浜松第一生命日通ビル1F	053-413-2070
静岡県	沼津市	エイブル	エイブルコア6F	055-951-8080
愛知県	名古屋市中村区	大名古屋ビル	大名古屋ビルヂング3F	052-571-1002
愛知県	名古屋市中区	栄	栄ガスビル9F	052-242-7030
愛知県	名古屋市中区	大須万松寺	万松寺ビル1F	052-251-7161
愛知県	名古屋市熱田区	金山	メガネプラザビル7F	052-678-2800
愛知県	刈谷市	刈谷	OTAビル4F	0566-62-1333
愛知県	豊田市	豊田	A館T-FACE 9F	0565-35-4480
愛知県	岡崎市	岡崎	名鉄東岡崎駅南館5F	0564-52-1800
三重県	四日市市	サンセリテ	近鉄四日市駅前スターアイランド4F	059-355-5863
三重県	伊勢市	ハートワン	山田赤十字病院1F	0596-25-7821
滋賀県	長浜市	湖北	長浜市列見町11番10	0749-63-7564
京都府	京都市下京区	四条	四条寺町下岡本鏡店3F	075-365-0388
京都府	京都市下京区	京都駅前	京阪京都ビル6F	075-361-9333
京都府	京都市伏見区	伏見大手筋	桃山SKビル2F	075-603-1350
大阪府	大阪市北区	阪急グランドビル25	阪急グランドビル25F	06-6367-7411
大阪府	大阪市北区	西梅田	ヒルトンプラザウエストオフィスタワー10F	06-6456-2330
大阪府	大阪市阿倍野区	あべのフェスタ	アベノセンタービルB2F	06-6641-6550
大阪府	大阪市都島区	京橋	晃進ビル4F	06-6354-1940
大阪府	大阪市中央区	日本橋	地下鉄 日本橋駅東改札前	06-6212-7009
大阪府	大阪市中央区	まいどなんば	難波御堂筋センタービル4F	06-6649-2277
大阪府	門真市	門真	門真運転免許試験場別館1F	06-6908-0118
大阪府	堺市	堺東	りそな堺東ビル5F	072-222-0018
大阪府	茨木市	阪急茨木市駅	茨木市駅ロサヴィア1F	072-624-7063
大阪府	枚方市	京阪枚方市駅	京阪枚方市駅東口1F	072-846-5588
兵庫県	神戸市中央区	ミント神戸15	ミント神戸15F	078-242-6360
兵庫県	神戸市中央区	三宮センタープラザ	センタープラザ西館3F	078-391-7070
兵庫県	神戸市長田区	新長田鉄人前	アスタプラザファーストB1F	078-641-6300
兵庫県	明石市	明石運転免許試験場	明石運転免許試験場前	078-914-8192
兵庫県	尼崎市	塚口さんさんタウン	塚口さんさんタウン2番館3F	06-6429-1411
兵庫県	姫路市	姫路みゆき通	JR姫路駅前ぼうしやビル3F	079-288-5718
奈良県	奈良市	近鉄奈良駅ビル	奈良近鉄ビル6F	0742-22-2122
和歌山県	和歌山市	和歌山駅前	JR和歌山駅前新橋ビル5F	073-427-2770
鳥取県	西伯郡日吉津村	ひえづ	イオン日吉津ショッピングセンター東館1F	0859-27-1724
島根県	出雲市	ふれあい	出雲保健所1F	0853-23-4534
岡山県	岡山市	ももたろう	表町1-9-64	086-225-6301
広島県	広島市中区	もみじ	明治安田生命広島本通ビル1・2F	082-248-6034
広島県	福山市	ばら	山陽第2ビル4F	084-927-8140
山口県	下関市	For You	シーモール下関4F	083-231-9001
徳島県	徳島市	アミコ	アミコビル3F	088-652-2550
香川県	高松市	オリーブ	参番街東館3F	0120-34-2307
愛媛県	松山市	大街道	大街道2-6-6	089-932-0900
高知県	高知市	ハートピアやまもも	朝日生命高知本町ビル2F	088-822-5454
福岡県	福岡市中央区	ハッピークロスイムズ	イムズビル8F	092-726-1188
福岡県	福岡市博多区	チャンネルシティ	チャンネルシティ ビジネスセンタービル1F	092-272-5853
福岡県	福岡市博多区	おっしょい博多	博多バスターミナル8F	092-476-1400
福岡県	北九州市	魚町銀天街	白樺ビル1F	093-551-1211
長崎県	長崎市	はまのまち	多真喜ビル3F	095-824-3332
長崎県	佐世保市	西海	オレンジアベニュービル6F	0956-25-2440
熊本県	熊本市	下通り	三国屋ビル2F	096-325-9218
大分県	大分市	わったん	トキハわさだタウン3街区2F	097-574-6822
宮崎県	宮崎市	カリーノ	カリーノ宮崎3F	0985-23-0007
鹿児島県	鹿児島市	天文館	天文館ビル2F	099-222-6511
沖縄県	那覇市	久茂地	パレットくもじ1F	098-864-0368

けんけつちゃん



チッチ

「たすけアイランド」で
4人の活躍を応援している。
愛の妖精のリーダー

けんけつちゃんは

「献血」をより多くの人に知ってもらい、

参加してもらうために登場した、愛の妖精です。



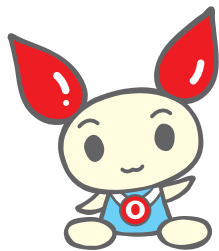
Profile

なまえ	チッチ
しゅるい	愛の妖精「けんけつちゃん」
出身地	たすけアイランド
たん生日	10月22日
性格	いつもみんなのことを第一に考えるがんばり屋さん。
しゅみ	たすけアイランドにある「ハートの泉」をのぞくこと。
夢	日本中の人と友達になること。
特技	大きな耳のおかげでとても聞き上手。
好きな言葉	「ちょっとチクッとしますよ。」
好きな食べ物	ソフトクリーム



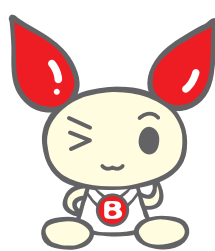
エイッチ

献血の宣伝係
みんなをまとめる、しっかりもの。
A型の妖精



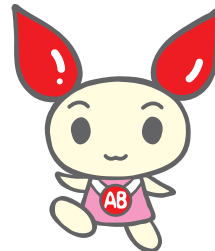
オータン

献血の呼びかけ係
いつでも元気なムードメーカー。
O型の妖精



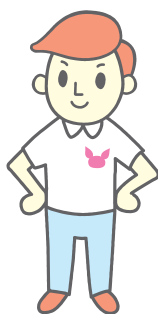
ビービー

献血の案内係
いつも素直ながんばり屋さん。
B型の妖精



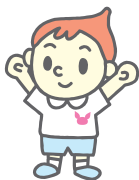
エビリン

献血のアフターケア係
みんなに優しいおっとりタイプ。
AB型の妖精



健助さん

人助けが生きがいのベテランボランティア。
「けんけつちゃん」たちの
お兄さんの存在。



つよし君

「けんけつちゃん」の
お手伝いをする
頼もしい子どもボランティア。



あいちゃん

元気で明るい女子大生ボランティア。
同世代の仲間に
献血の大切さを呼びかけている。



美和さん

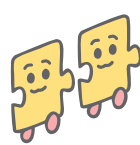


O:ほちや

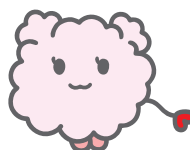
赤血球のせっちゃん



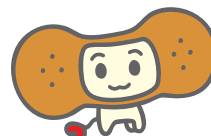
白血球のはっちゃん



血小板のぼんちゃん



わたちゃん
脱脂綿の妖精



ばんぞうちゃん
ばんぞうごうの妖精

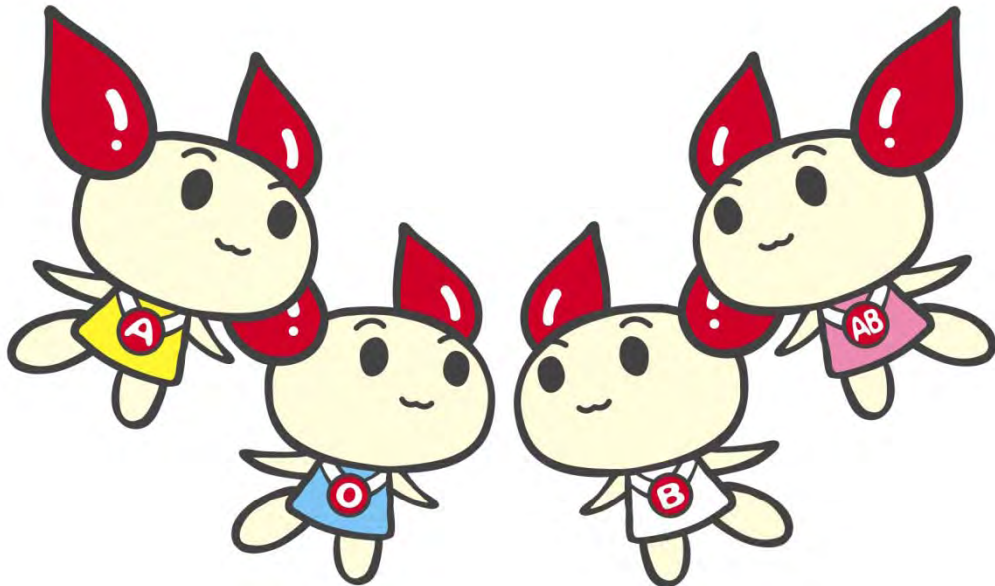
参

考

资

料

编



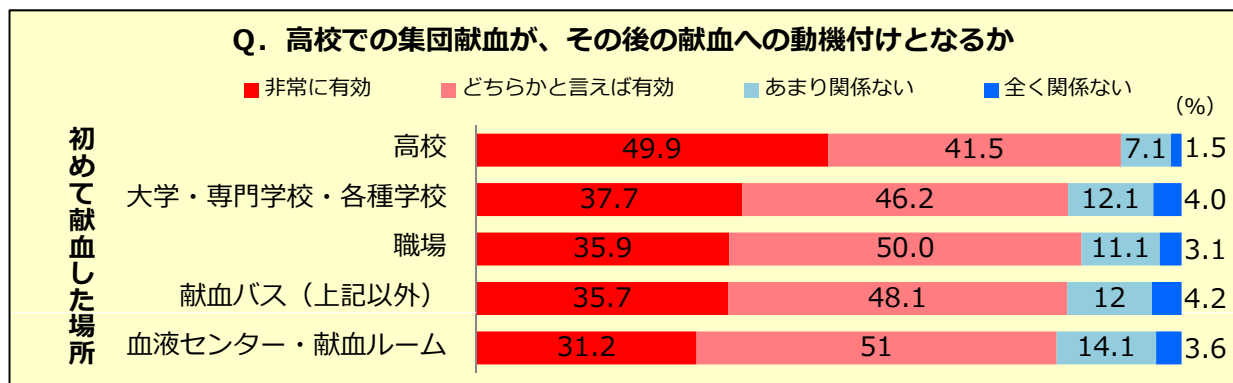
● 高校生に対する献血推進が重要です。

① 少子高齢社会では、血液製剤の需要が増大するとともに、献血可能人口は減少します。血液製剤は医療に無くてはならないものですので、血液が足りなくなって患者さんに届けられない、という事態はどうしても避けなければなりません。

そのため、これからの社会を支える若年層の献血者をいかに増やすかが喫緊の課題となっています。

② 厚生労働省が献血経験者を対象に実施した調査では、多くの人（特に、初回献血が高校だった人）が「高校での献血がその後の献血への動機付けに有効」と考えていることがわかりました（下図参照）。

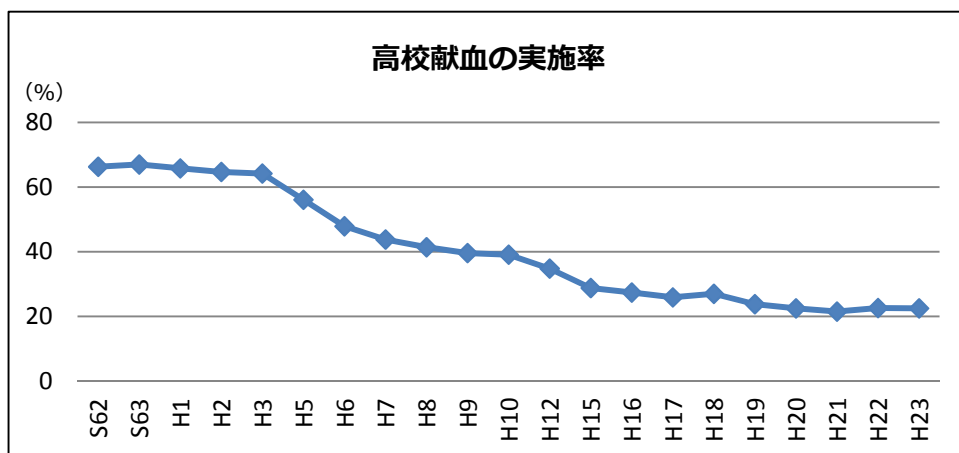
このようなデータから、少しでも多くの若年層に献血してもらうためには、特に高校生に対する推進が非常に重要と考えています。



● 少しでも献血に触れ合っただけのように・・・

高校献血は昔、実施率が約6割ととても盛んに行われておりましたが、徐々に減少し続け、現在では2割程度にまで落ち込んでいます。

この高校献血の減少によって、学生たちは献血に触れ合う機会自体が減ってきています。



献血受入を行っている日本赤十字社では、献血のきっかけづくりや、将来にわたって献血にご協力いただくための取組として、学校に出向いての「献血セミナー」（スライド・映像やパンフレットを用いた学習講座）を積極的に実施しております。

詳しくは、最寄りの血液センターへお問い合わせください。



採血基準

献血の種類 項目	全血献血		成分献血	
	200ml献血	400ml献血	血漿	血小板
1回採血量	200ml	400ml	300ml~600ml (体重別)	400ml以下
年齢	注) 16歳~69歳	注) 男性17歳 女性18歳~69歳	注) 18歳~69歳	注) 18歳~男性69歳 女性54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量	血色素量 男性 12.5g/dl以上 女性 12g/dl以上	血色素量 男性 13g/dl以上 女性 12.5g/dl以上	血色素量 12g/dl以上 <small>(赤血球指数が標準域に ある女性は11.5g/dl以上)</small>	血色素量 12g/dl以上
血小板数	_____	_____	_____	15万/μl以上 60万/μl以下
年間採血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
年間総採血量	200ml献血と400ml献血を合わせて 男性1,200ml以内、女性800ml以内		_____	_____

注) 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

(献血の間隔)

今回の献血 前回の献血	全血献血		成分献血	
	200ml献血	400ml献血	血漿	血小板 [※]
200ml献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます			
400ml献血	男性は12週間後、女性は16週間後の 同じ曜日から献血できます		男女とも8週間後の同じ曜日から 献血できます	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			
血小板成分献血				

※血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血される方の安全と患者さんが安心して輸血を受けられるよう、献血申込書に記入する前に、「お願い」が渡されます。輸血を受ける患者さんに安全な血液を届けるため、また、自分自身が安全に献血するため、その中の「献血いただく前に」を熟読して下さい。

献血いただく前に

献血いただく前に、これをよく読んでいただき、了解された上で申込書(診療録)をご記入いただきます。

●献血前に

- お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお書きください。
- ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いすることがあります。
- 問診票の質問には正確にお答えください。
- プライバシーは厳守いたします。
- 献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩(30分以上)を取っていただきます。
- 副作用予防のため、献血前に水分(スポーツドリンク等)を補給してください。

●献血時は

- 200mL・400mL 献血では10分から15分位、成分献血では40分から90分位の採血時間がかかります。
- 血圧や血液の濃さ(ヘモグロビン)を事前に測定します。
- 採血針は、一人ずつ使い捨てとなっています。

●採血副作用と注意

採血に伴う副作用が生じることがあります。

採血中や採血後に、気分不良、吐き気、めまい、失神などが約0.9%(1/100人)、針を刺すことによる皮下出血が約0.2%(1/500人)、神経損傷(脱力や痛み)が約0.01%(1/10,000人)程度の頻度で発症します。また、失神に伴う転倒がまれに発生する場合があります。

- 採血針を刺した箇所に針跡が残ることがあります。
- 針を刺した時に、強い痛みがある場合や痛みがいつまでも続く場合は、直ぐに看護師、医師にお知らせください。また、皮下出血等も我慢せずにお知らせください。
- 採血中に気分不良やめまいを起こした場合は、職員にお知らせください。また、採血後に同様の症状を起こした場合は転倒を防止するために、すぐにしゃがむか横になってください。
- 献血によって健康被害が生じた場合、医療費等を補償する献血者健康被害救済制度がもうけられています。くわしくは、血液センター職員にお尋ねください。

●献血いただいた血液は

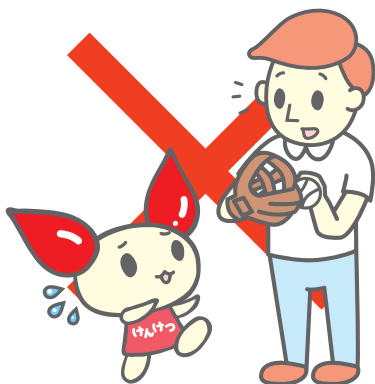
- 献血いただいた血液が採血装置等の不具合・不良により輸血に使用できなくなることがあります。
- 次の検査を実施し、輸血に不適と判断されれば使用しません。
 - ・血液型(ABO型、Rh型)、不規則抗体、梅毒、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス、HTLV-1(ヒトTリンパ球向性ウイルス-1型)、ヒトパルボウイルスB19、ALT(肝機能)
 - ・必要により、赤血球の詳しい型、白血球抗原(HLA)、血小板抗原、血漿蛋白、サイトメガロウイルスの検査を実施することがあります。
- より詳細な血液型の検査や輸血副作用の検査のため、赤血球型、白血球型(HLA型)、血小板型や血漿蛋白の遺伝子検査を行う場合があります。なお、その他の遺伝子検査をご本人の承諾を得ずに行うことはありません。
- 献血していただいた血液の一部は、輸血副作用・感染症などの調査のために11年間冷凍保管しています。
- 献血していただいた血液は、治療用以外にも、輸血の有効性・安全性の向上のための研究や、安全な輸血のための検査試薬製造等に有効に活用させていただくことがあります。

採血による副作用から身を守るため、熟読し記載内容について注意してください。

採血中や採血後、まれにめまいや皮下出血などの副作用が発生することがあります。
これら副作用から身体を守るため、次のお願いを守ってください。

※副作用発生率 気分不良・吐き気・めまい・失神など：約0.9% 皮下出血：約0.2%、神経損傷（脱力や痛み）：約0.01%

スポーツ



献血当日の激しいスポーツは避けてください。

身体への負担

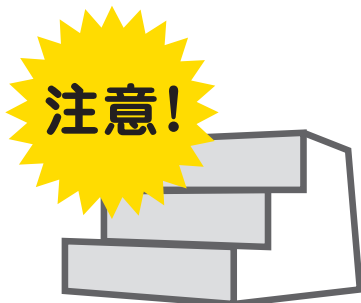


重い荷物を持ちたりして、腕に力を入れすぎないように注意してください。また、針の跡をもんだり、こすったりしないでください。

気分が悪くなったり、めまいを感じたら、
すぐに座るか、横になってください。
また、腕の痛みなど何か心配な時は、
直ちに血液センターまで連絡してください。

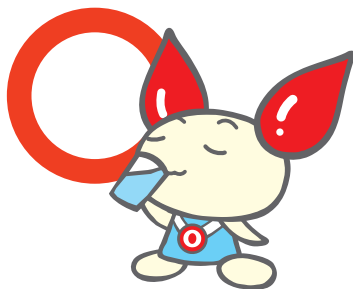


エレベーター・階段など



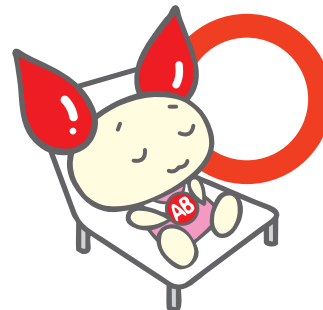
エレベーターや階段などを使用する際には、特に注意してください。

水分補給



水分を十分補給してください。

休憩



自動車などの運転をする時は、十分な休憩をとってください。

献血を希望する際は、全員、問診票に正しく記入する必要があります。
 問診は、感染直後から抗原または抗体が検出できるまでの感染の事実を検知できない期間（ウィンドウ期）などにおいて実施可能な、検査の限界を補う唯一の方法です。
 献血者は、献血の方法や危険性等を理解することはもちろん、問診の意義や目的を正しく理解し、患者に安全な血液を提供するために「安全で責任ある献血」をすることが必要です。

問 診 票	
以下の質問は、献血される方と輸血を受けられる方の安全を守るためにうかがうものです。 表現上、不快の念を抱かれる部分があるかもしれませんが、「責任ある献血」のために、何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。 エイズ検査目的の献血は、血液を必要とする患者さんの安全のためにお願いします。（注意）法令の規定により、記入された問診票及び献血申込書（診療録）の返却・廃棄はできません。	
質問事項	質問事項
1 今日体調は良好ですか。	14 海外から帰国（入国）して4週間以内ですか。
2 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けましたか。	15 1年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に滞在しましたが、 （国名）
3 3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。	16 4年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に1年以上滞在しましたが、 （国名）
4 次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用することがあります。 プロペシア・プロスカール等（1ヵ月以内）、アボダート・アボルプ等（6ヵ月以内）	17 英国に1980年（昭和55年）～1996年（平成8年）の間に 通算1ヵ月以上滞在しましたか。
5 次の薬を使用することがあります。 乾せん治療薬（チガソル）、ヒト由来プラセンタ注射薬（ラエンネック・メルスモン）	18 ヨーロッパ（英国も含む）・サウジアラビアに1980年以降、 通算6ヵ月以上滞在しましたか。 （国名）
6 24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。	19 エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。
7 1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。	20 6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①不特定の異性または新たな異性と性的接触があった。 ②男性どうしの性的接触があった。 ③麻薬、覚せい剤を使用した。 ④エイズ検査（HIV検査）の結果が陽性だった（6ヵ月以前も含む）。 ⑤上記①～④に該当する人と性的接触をもった。
8 次の病気や症状がありましたか。 3週間以内－はしか、麻疹、おたふくかぜ、帯状疱疹、水ぼうそう 1ヵ月以内－発熱を伴う下痢 6ヵ月以内－伝染性単核球症、リンゴ病（伝染性紅斑）	21 今までに輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けたことがありますか。
9 1ヵ月以内に肝炎やリンゴ病（伝染性紅斑）になった人が家族や 職場・学校等にいますか。	22 今までに次のいずれかに該当することがありますか。 ①クローンフェルト・ヤコブ病（CJD）または類癩疾患と診断された。 ②血縁者にCJDまたは類癩疾患と診断された人がいる。 ③ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。 ④角膜移植を受けた。 ⑤破産移植を伴う脳神経外科手術を受けた。
10 6ヵ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。 ①ピアス、またはいれずみ（刺青）をした。 ②使用後の注射針を誤って自分に刺した。 ③肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）と性的接触等密接な接触があった。	23 現在妊娠中または授乳中ですか。（男性の方は「いいえ」と回答してください） 6ヵ月以内に産産、流産をしましたか。
11 1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性病、ぜんそく、アレルギー疾患、その他（ ）	私は以上の質問を理解し、正しく答えました。
12 今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。 B型肝炎、がん（悪性腫瘍）、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん	署名
13 今までに次の病気にかかったことがありますか。 C型肝炎、梅毒、マラリア、パパンシア症、シャーガス病、 リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症	
（注意）1. 献血される方は、「はい・いいえ」欄の該当する方に ■ または □ をご記入願います。 2. それ以外の欄には、問診を行う者が、必要事項を記入いたします。	

1 今日体調は良好ですか。
発熱のある人は、細菌やウイルスが血液中に出てくる（菌血症又はウイルス血症）疑いがあるため、献血してはいけません。
 また、献血者の緊張度や体調によっては、採血をしている間にVVR（血管迷走神経反応）などの副作用が起こる可能性があるため、十分に体調を整えて献血することが重要です。

2 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けましたか。
3日以内に出血を伴う歯科治療を受けた人は、口腔内常在菌が血液中に出ている（菌血症）可能性があるため、献血してはいけません。

3 3日以内に薬を飲んだり、注射を受けましたか。
抗生物質や鎮痛解熱剤を服用又は注射された人は、献血してはいけません。感染症を起こしていたり、薬物が血小板の機能に悪影響を及ぼしたりする可能性があるからです。
 その他の薬物を服用している場合でも、病気や薬の影響により献血できない場合があります。

4

次の育毛薬／前立腺肥大症治療薬を使用したことがありますか。
プロペシア・プロスカール等
(1カ月以内)
アボダート・アボルブ等
(6カ月以内)

アンチアンドロゲン系ホルモン剤であるこれらの薬剤は、胎児に対する催奇形性が指摘されているため、**プロペシア・プロスカール**は服用後1カ月間、**アボダート・アボルブ**は服用後6カ月間献血してはいけません。

プロスカール及びアボダートは日本では医薬品として未承認ですが、育毛薬として個人輸入し、服用（経口）している人がいます。また、アボダートと同様の成分（dutasteride）を含むデュタスや、プロペシアと同様の成分（finasteride）を含むフィンペシア、フィンカー等のジェネリック医薬品も同様の扱いとなります。

5

次の薬を使用したことがありますか。
乾せん治療薬（チガソン）
ヒト由来プラセンタ注射薬
（ラエンネック・メルスモン）

乾せんの治療に用いられる**チガソン**は、米国（FDA）の基準にある採血禁忌薬剤であるTegison（合成レチノイド）に該当し、催奇形性が指摘されているため、**服用歴がある場合や、服用した人は献血してはいけません。**

また、ヒト由来プラセンタ注射薬の原料であるヒト胎盤からの異常プリオン感染による変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）の危険性が理論上完全に否定できないため、**過去にラエンネック、メルスモンの注射をした人にも献血を御遠慮いただいています。**

なお、現在、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用によるvCJDの感染事例は報告されていません。

6

24時間以内にインフルエンザの予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチンは、不活化ワクチンであり、血中に病原体が存在する危険性はありませんが、献血者の体調を考慮して**接種後24時間を経過するまで献血してはいけません。**

7

1年以内にインフルエンザ以外の予防接種を受けましたか。

インフルエンザワクチン以外の不活化ワクチンやトキソイド（例えば、日本脳炎、コレラ、肺炎球菌、百日咳、A型肝炎等）を接種した人は、接種後24時間を経過するまで献血してはいけません。

B型肝炎ワクチン接種後は、HBs抗原検査が陽性と判定される可能性が高いため、4週間献血してはいけません。抗HBsヒト免疫グロブリンを単独またはB型肝炎ワクチンと併用した人は1年間献血してはいけません。

また、動物に噛まれた後に**狂犬病ワクチン**を接種した人は**接種後1年間**、**弱毒生ワクチン**（例えば**黄熱、麻疹、ポリオ、おたふくかぜ、風疹、水痘、BCG**）を接種した人は**接種後4週間**献血してはいけません。

その他、**破傷風、蛇毒、ジフテリアの抗血清投与を受けた人は3カ月間**献血してはいけません。

8

次の病気や症状がありましたか。
3週間以内

－はしか、風疹、おたふくかぜ、
帯状ほうしん、水ぼうそう

1カ月以内

－発熱を伴う下痢

6カ月以内

－伝染性単核球症、リンゴ病（伝染性紅斑）

麻疹ウイルス、風疹ウイルス、ムンプスウイルスの感染を予防するため、**はしか、風疹、おたふくかぜ、帯状ほうしん、水ぼうそうの治癒後3週間以内の人は、献血してはいけません。**

輸血を介したエルシニア菌等の感染を防ぐため、**1カ月以内に発熱を伴う食中毒様の激しい下痢をした人は献血してはいけません。**我が国でもエルシニア菌の感染疑い例が報告されています。米国の報告によれば、死亡の危険率は輸血1単位当たりおよそ1/900万です。

エプスタイン・バーウイルス（EBV）の感染を防ぐため、**伝染性単核球症の症状が消えた後6カ月間**献血してはいけません。このウイルスの適切な検査方法は、世界的にも確立されていませんが、我が国では、ほとんどの人がかかったことがあるウイルスであり、生後2～7歳ではほぼ80%が、成人ではほぼ100%が抗体陽性を示します。輸血による感染は一般に症状が現れず、我が国では報告がありません。外国では伝染性単核球症や肝炎の発症が数例報告されています。

また、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、リンゴ病（伝染性紅斑）の症状が消えた後6カ月間献血してはいけません。日本では成人の約50%がこのウイルスに対する抗体が陽性であり、ウイルス血症の頻度は低く（国内の報告によれば流行期で4000人に1人）、輸血による感染の危険性は非常に低くなっています。また、仮に症状が出現しても急性一過性に経過し、重症化はしません。ただし、溶血性貧血の患者や免疫抑制状態にある患者が感染した場合には、重症の貧血（赤芽球癆）を起こす危険性があり、また、子宮内で胎児が感染した場合、流産、胎児水腫を起こすことがあります。

9 1カ月以内に肝炎やリンゴ病（伝染性紅斑）になった人が家族や職場・学校等にいますか。

A型肝炎ウイルス（HAV）、E型肝炎ウイルス（HEV）の感染を防ぐため、1カ月以内に家族や職場等にA型肝炎、E型肝炎を発症した人がいる場合は、1カ月間献血してはいけません。通常、経口摂取により感染しますが、潜伏期から急性期にかけてウイルス血症が起こり、血液による感染が起こり得ます。

同様に、ヒトパルボウイルスB19の感染を防ぐため、1カ月以内に家族や職場等にリンゴ病（伝染性紅斑）を発症した人がいる場合は、献血してはいけません。

10 6カ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① ピアス、またはいれずみ（刺青）をした。
- ② 使用後の注射針を誤って自分に刺した。
- ③ 肝炎ウイルスの持続感染者（キャリア）と性的接触等親密な接触があった。

B型肝炎ウイルス（HBV）やC型肝炎ウイルス（HCV）の感染を可能な限り防止するため、他人の血液や体液に暴露された可能性のある人、6カ月以内にウイルスキャリアとの親密な接触をした人は献血してはいけません。

現在、肝炎ウイルスに感染する危険性が高いと考えられるのは、注射器の回し打ち、消毒などを十分に行っていない器具によるピアス・刺青、不特定の相手との性的接触といわれています。ただし、日常生活で感染することはほとんどありません。また、C型肝炎ウイルスについては、性的接触で感染することはほとんどありません。

11 1年以内に次の病気等にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

外傷、手術、肝臓病、腎臓病、糖尿病、結核、性病、ぜんそく、アレルギー疾患、その他()

採血の際に副作用が起きたり、献血者の健康に悪影響を与えるおそれがある疾患については、献血者自身と受血者双方の安全性を確保するため、献血を御遠慮いただく場合があります。また、開胸・開腹・開頭を要するような大手術を受けた人及び開放骨折をした人は、6カ月間献血を御遠慮いただいています。ぜんそく、アレルギー疾患等についても、治療薬が患者に悪影響を及ぼすおそれがあるため、献血を御遠慮いただく場合があります。

12 今までに次の病気にかかったか、あるいは現在治療中ですか。

B型肝炎、がん（悪性腫瘍）、血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん

B型肝炎ウイルスキャリアは長期の経過により、ウイルスが変異して産生するウイルス抗原量が少なくなり、検出感度以下となる場合があります。従って、過去にB型肝炎ウイルスキャリアと診断されたことがある人は献血してはいけません。

血液疾患、心臓病、脳卒中、てんかん等については、採血の際に副作用が起きたり、献血者の健康に悪影響を与えるおそれがあるため、また、がんの既往がある場合は、原則として献血を御遠慮いただいています。

13 今までに次の病気にかかったことがありますか。

C型肝炎、梅毒、マラリア、バベシア症、シャーガス病、リーシュマニア症、アフリカトリパノソーマ症

C型肝炎は慢性化しやすく、肝炎が治癒しても血中にウイルスが存在していることがあるので、C型肝炎の既往歴のある人及びC型肝炎ウイルスキャリアと言われたことのある人は献血してはいけません。

梅毒は、血小板製剤や新鮮血の使用で感染するおそれがあるため、既往歴のある人は献血してはいけません。

マラリアの既往歴のある人は、マラリアの発熱発作が長期間みられなくても、肝臓等にマラリア原虫が残存している場合があります（特に三日熱、卵形マラリア）、輸血による感染源になりうるため、献血してはいけません。

その他、シャーガス病やバベシア症等の既往歴のある人も献血してはいけません。

14 海外から帰国（入国）して4週間以内ですか。

海外との交流が盛んになるにつれて、海外で何らかの感染性疾患に罹患したまま帰国（入国）する人が多くなっています。これらの疾患は、マラリアのように血液を介して感染するものが多く、その一つ一つを何らかの検査でスクリーニングすることは困難です。ウエストナイル熱をはじめとする輸入感染症対策のため、**大半の輸入感染症の潜伏期間内にある帰国後4週間は献血してはいけません。**

15 1年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に滞在しましたか。

16 4年以内に外国（ヨーロッパ・米国・カナダ以外）に1年以上滞在しましたか。

マラリアによる感染を防ぐため、WHOの指定しているマラリア流行地域に旅行した人については1年間、長期滞在者については3年間献血してはいけません。アメリカではおよそ100万単位当たり0.25の確率で輸血による感染が起こっており、我が国では、その頻度はさらに低いものと考えられています。今後海外旅行等の増加により、危険性が高まること懸念されています。

その他、中南米に居住歴のある方については、中南米に流行地をもつサシガメ（昆虫）が媒介するシャーガス病のリスク（病原体保有者）がある場合がありますので注意が必要です。

17 英国に1980年（昭和55年）～1996年（平成8年）の間に通算1カ月以上滞在しましたか。

18 ヨーロッパ（英国も含む）・サウジアラビアに1980年以降、通算6カ月以上滞在しましたか。

変異型クロイツフェルトヤコブ病（vCJD）については、輸血で感染する可能性が示唆されています。したがって、昭和55年以降に、表のA及びBに掲げる「採血制限対象国」において、「滞在歴」の欄に掲げる期間滞在した人は、**献血してはいけません。**なお、平成22年7月時点で、英国において、輸血により異常プリオンタンパクに感染した疑いのある事例が4例、血液凝固因子製剤により感染した疑いのある事例が1例報告されています。

		採血制限対象国	通算滞在歴	滞在時期
対象国と滞在歴	A	① 英国	1ヶ月以上 (1996年まで) 6ヶ月以上 (1997年から)	1980年 ～2004年
		② アイルランド、イタリア、オランダ、スペイン、ドイツ、フランス、ベルギー、ポルトガル、サウジアラビア	6ヶ月以上	
		③ スイス	6ヶ月以上	1980年～
	B	① オーストリア、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ルクセンブルグ	5年以上	1980年 ～2004年
		② アイスランド、アルバニア、アンドラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、セルビア、モンテネグロ、チェコ、パチカン、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、マルタ、モナコ、ノルウェー、リヒテンシュタイン、ルーマニア	5年以上	1980年～

※Bに掲げる国の滞在歴を計算する際には、Aに掲げる国の滞在歴を加算するものとする。

19 エイズ感染が不安で、エイズ検査を受けるための献血ですか。

エイズに限らず、**感染症の検査を目的とする献血は、輸血を受ける患者に対して感染の危険性を高めるものですから、絶対に行ってはいけません。**エイズ検査は保健所等にて無料匿名で実施されています。

20

6カ月以内に次のいずれかに該当することがありましたか。

- ① 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった。
- ② 男性どうしの性的接触があった。
- ③ 麻薬、覚せい剤を使用した。
- ④ エイズ検査（HIV検査）の結果が陽性だった（6カ月以前も含む）
- ⑤ 上記①～④に該当する人と性的接触をもった。

エイズの原因となるウイルスであるHIVに感染している危険性のある人は、献血してはいけません。

HIV感染者及びエイズ患者の報告数は増加傾向です。平成21年の新規HIV感染者の報告件数は1,021件であり、新規エイズ患者の報告件数は431件でした。直近5年間では、HIV感染者報告数は5,013件、エイズ患者報告数は2,053件でした。それぞれ累計に占める割合は、HIV感染者では43.3%、エイズ患者では38.5%であり、近年の報告数の増加が著しいことが窺えます。平成21年のHIV感染者の主な感染経路は、異性間の性的接触（20.6%）、同性間の性的接触（68.0%）、静注薬物使用（0.5%）があげられています。

エイズについては、昭和56年に米国で世界初の症例報告があり、昭和58年にはHIVが発見され、昭和60年に日本人初のエイズ患者が認定されました。我が国では約1,400名の血友病患者が、血友病治療のために使用していた非加熱血液凝固因子製剤によりHIVに感染し、国及び製薬企業5社を被告とする損害賠償請求訴訟が提起され、平成8年3月に和解が成立しました。また、和解に則り、非加熱製剤によりHIVに感染された方に対する救済事業等を実施しています。

加熱処理が導入されてからは、血液凝固因子製剤などの血漿分画製剤による感染は報告されていません。また、献血血液については、昭和61年からHIVの抗体検査が始まりました。平成11年にはNATが導入され、輸血による感染の危険性は大幅に減少しています。しかしながら、平成15年に、NAT導入後の輸血後HIV感染が1例報告されており、安全対策の一層の充実が求められています。検出感度の優れているNATといえども、感染ごく初期のものは検出することができないことから、**6カ月以内に上記5項目（④は6カ月以前も含む）に該当する人は、献血してはいけません。**

21

今までに輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けたことがありますか。

輸血歴、臓器移植歴のある方は、未知のウイルス等の感染を防ぐ意味から、献血を御遠慮いただいています。輸血の安全性は、相当程度改善しましたが、未知のウイルスを排除することはできません。このような技術の限界を踏まえ、念のため、献血を御遠慮いただいているものです。

22

今までに次のいずれかに該当することがあります。

- ① クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) または類縁疾患と診断された。
- ② 血縁者にCJDまたは類縁疾患と診断された人がいる。
- ③ ヒト由来成長ホルモンの注射を受けた。
- ④ 角膜移植を受けた。
- ⑤ 硬膜移植を伴う脳神経外科手術を受けた。

プリオンの適切な検査法のない現在、問診のみが唯一のスクリーニング法です。**ここに該当する人は、献血してはいけません。**

なお、硬膜移植を伴う脳神経外科手術に関しては、医療機器であるヒト乾燥硬膜「ライオデュラ」を介してCJDに感染し、被害を被ったことに対し、国、輸入販売業者及びドイツの製造業者を被告とする損害賠償訴訟が提起され、平成14年3月に和解が成立しました。

23

現在妊娠中または授乳中ですか。
6カ月以内に出産、流産をしましたか。

母体の健康を保護するため、**妊娠中、出産・流産後6カ月以内、授乳中（分娩後1年まで）の女性には献血を御遠慮いただいています。**

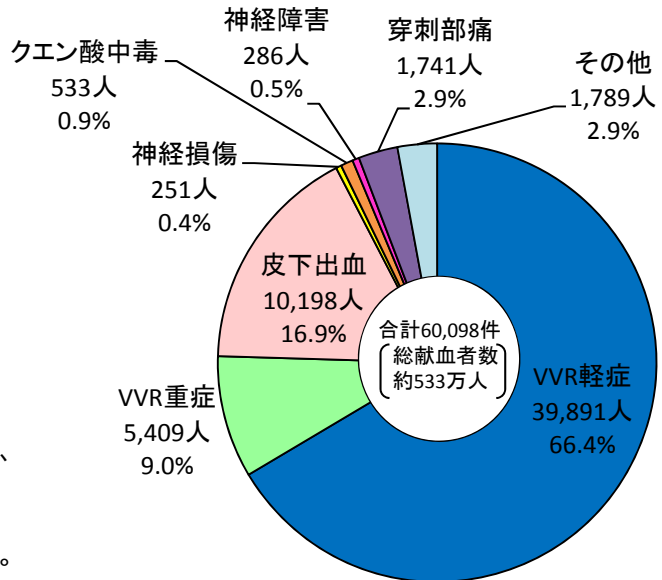


献血時の採血は、献血者の健康状態等を十分確認した上で行われますが、時には気分不良、ごくまれに失神、神経損傷などの健康被害が起こることがあります。

献血者の健康被害の症状とその発生状況は右図のとおりです。

発生頻度が高いのは、血管迷走神経反応（VVR）と呼ばれるもので、一時的な気分不良や顔面蒼白などの症状が代表的です。

日本赤十字社では、これらの健康被害を防ぐために、採血後の安静や水分補給について注意を促し、万が一、腕の痛みなど健康状態に心配が生じた時は、血液センターに連絡するよう呼びかけています。

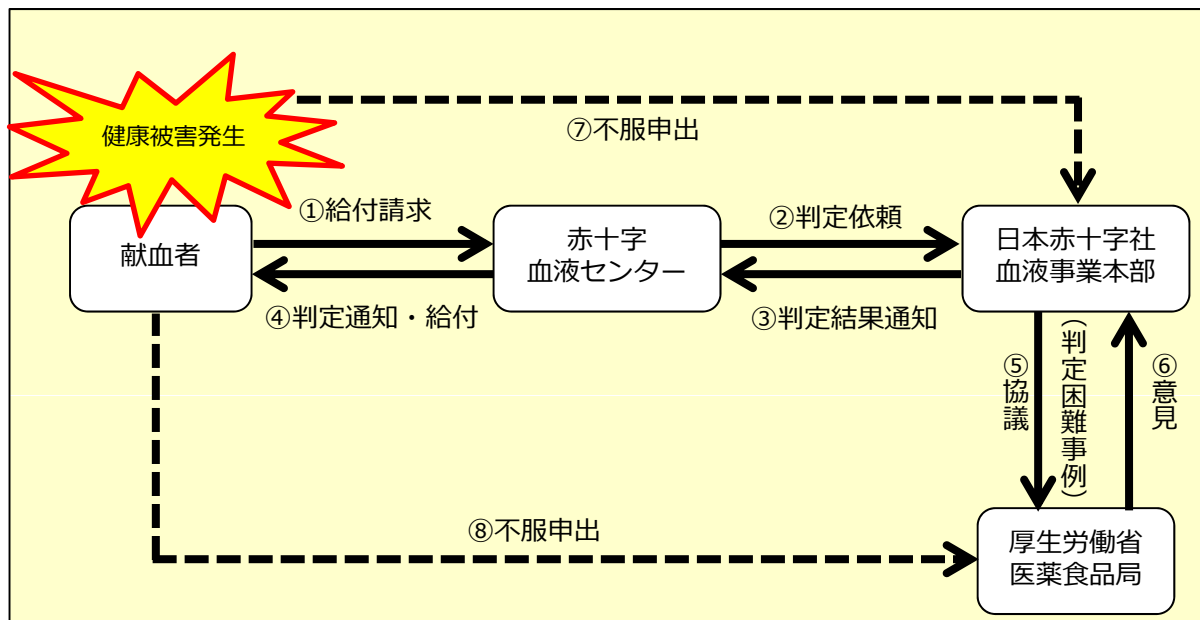


平成22年度の献血者の健康被害発生状況

■ 献血者健康被害救済制度

健康被害が医療機関の受診を要するような状態になった場合、医療費や医療手当などが支給される制度です。

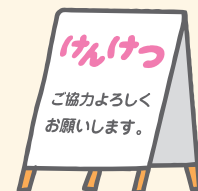
平成22年度は、献血者数約533万人のうち811件（全体の約0.015%）について、この制度が適用されました。

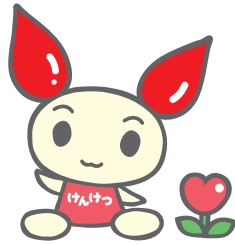


売血から献血、国内自給をめざして

日本の血液事業のあゆみ〈三十二年表〉

1948年(昭和23年)	赤十字国際会議が血液事業推進を決議。
1952年(昭和27年)	売血による商業血液銀行と献血による日本赤十字社(赤十字血液銀行)が血液事業を開始。
1956年(昭和31年)	「採血及び供血あつせん業取締法」施行。 人の血液の利用適正、被採血者の保護を目的とし、採血業者に対する規定を設けている。 同法施行規則により採血基準が定められている。
1962年(昭和37年)	売血による供血者貧血と売血の輸血で血清肝炎が多発したことが社会問題となり、「黄色い血」追放運動始まる。
1964年(昭和39年)	輸血用血液を献血により確保する体制を確立するよう閣議決定。
1969年(昭和44年)	売血による輸血用保存血液の製造を中止(預血制度に切替え)。
1972年(昭和47年)	輸血後のB型肝炎の予防のため、B型肝炎ウイルスのHBs抗原検査を開始。
1974年(昭和49年)	輸血用血液の献血による自給の達成(預血制度を廃止)。
1980年(昭和55年)	成分輸血療法が普及し、全供給本数の70%以上となる。 輸入による血漿分画製剤の使用が飛躍的に増加。
1982年(昭和57年)	献血者全員に検査サービスとして、生化学検査の結果通知を開始。
1986年(昭和61年)	400ml採血及び成分(血漿、血小板)採血を導入。 輸血による感染が問題となっているHIV・ヒトリンパ球向性ウイルスI型抗体検査を開始。
1989年(平成元年)	輸血後C型肝炎の予防のため世界に先がけてHCV抗体検査を開始。 また、B型のための検査も従来のHBs抗原検査に加えてHBc抗体検査を開始。
1990年(平成2年)	国内の有償採血を完全に廃止。 民間企業の製造能力等を活用することについての関係三者による基本合意が成立する。
1991年(平成3年)	血液比重、血圧などの採血基準を緩和し、献血者の対象を拡大。
1992年(平成4年)	従来のHCV抗体検査より感度の高い第二世代の試薬によるHCV抗体検査を開始。
1993年(平成5年)	輸血による感染症や免疫反応による副作用防止のため、自己血輸血を普及・推進。
1994年(平成6年)	国民の献血による血液による血液凝固第Ⅷ因子製剤の国内自給達成。
1995年(平成7年)	安全性をより高めるために、全国的に問診票を統一。
1998年(平成10年)	GVHD(移植片対宿主病)を予防する放射線照射輸血用血液が承認され、供給を開始。
1999年(平成11年)	献血年齢の引き上げを行い、69歳まで献血が可能となる。 全血液センターの献血血液にNAT(核酸増幅検査)を導入。
2003年(平成15年)	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」施行。
2006年(平成18年)	献血カードを導入。 献血による健康被害に対する補償のための措置を実施。
2007年(平成19年)	白血球除去技術の導入。
2008年(平成20年)	抗原抗体検査においてCLEIA法(化学発光酵素免疫法)及び、より高感度のNATを導入。
2011年(平成23年)	400ml採血の献血年齢の引き下げを行い、男性に限り、17歳から献血が可能となる。 また、血小板成分採血の献血年齢の引き上げを行い、男性に限り、69歳まで献血が可能となる。





厚生労働省

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬食品局血液対策課

東京都千代田区霞ヶ関1-2-2

〒100-8916 TEL.03-5253-1111 (代表)